



自動車をご利用の場合

舞鶴若狭自動車道
「丹南篠山口IC」から
北西へ約5分



電車をご利用の場合

JR福知山線
「丹波大山駅」下車
徒歩10分



丹波篠山市立 太古の生きもの館

〒669-2221 兵庫県丹波篠山市西古佐90番地1 (兵庫県立丹波並木道中央公園内)

TEL・FAX / 079-556-7666

開館時間 9:00~16:30 **入館料** 無料

休館日 月曜日 (祝祭日と重なった場合は開館、翌平日休館)
12月29日から翌年1月3日まで

不在の場合は下記へご連絡ください

- 兵庫県立丹波並木道中央公園 (公園管理棟) TEL.079-594-0990
- 丹波篠山市教育委員会事務局 文化財課 ※土・日曜日、祝祭日を除く 9:00~17:00
TEL.079-552-5792 FAX.079-552-8015

≠ 1100000000 ?



から始まる



丹波篠山市立太古の生きもの館

The Hall of Ancient life

太古の生きもの市民研究所

The Citizen Laboratory of Ancient life



太古の生きものの館



太古の生きものの館は、篠山層群から見つかった化石の実物や、それらを復元した模型の展示を見学できるだけでなく、その他にも露頭の観察や化石調査作業の見学、化石発掘体験などができる体験型学習施設です。

太古の生きものの館へ通じる通路の南側(左側)の斜面には、約1億1千万年前に降った雨の痕(あと)や生きものの巣穴の痕(あと)などが残っており、篠山層群の地層を間近で観察できます。



太古の生きものの館への通路左側にある篠山層群の地層

太古の生きものの館 案内図

篠山層群
の地層

通路

展示室

太古の生きもの
市民研究所

化石発掘
体験
スペース

太古の生きものの館 展示室

展示室では、丹波篠山市内で発見された恐竜やほ乳類の復元模型、イベントや学校の授業で子ども達が発見した実物の化石などの展示や、篠山層群の成り立ちなどを紹介しています。

また、映像による「篠山層群」についての様々な解説や、最新情報をご覧いただけます。



展示室からは奥にある市民研究所の様子を見ることができます。



約1億1千万年前の太古の生きものの模型をジオラマで展示しています。



展示室内のモニターから流れる映像で篠山層群のことをもっと知ることができます。



篠山層群の岩石を使って、イベントや学校の授業で行った石割調査によって発見された実物の化石を展示しています。

篠山層群の化石産地～丹波篠山市編

宮田露頭 現在進行形の発掘現場



丹波篠山市宮田にある「宮田露頭(発掘現場)」は篠山層群を構成する主な地層(泥岩・砂岩・礫岩・凝灰岩層)を全て含む形で露出しており、重点保護区域に指定しています。保護区域ではありますが、化石発掘調査だけでなく地層の研究や露頭観察会などの各種セミナー、学校での授業などにも活用しています。

篠山層群の基準となる年代(今から約1億1千万年前・中生代前期白亜紀)は宮田露頭の凝灰岩層を用いて測定されたものです。

※2026年3月現在、新属新種の哺乳類1種、恐竜類1種及び新種の爬虫類1種が発見されています(正式に記載された動物)

※宮田露頭は丹波篠山市の許可なく敷地内に入る事はできません。

丹波並木道中央公園 太古の生きもの館露頭



丹波並木道中央公園は、公園全体が篠山層群の上に造られており、公園内で岩盤が露出している場所であればどこでも化石が見つかる可能性があります。事実、太古の生きもの館の建物の下と敷地からは新属新種の恐竜化石が発見されています。ただし、あくまでも公園なので一般の方が発掘することはできません。見て探すだけなら問題はありませんので、公園内の露頭で何か化石っぽい物を発見された場合は、太古の生きもの館へお知らせ下さい。

太古の生きものたち

≒110000000? (約1億1千万年前)

丹波篠山市と丹波市の一部にまたがる「篠山層群」と呼ばれる地層は、今から約1億1千万年前の前期白亜紀の地層です。白亜紀といえば大小様々な恐竜たちが地球上で大繁栄していた時代です。

その頃、人類はまだ存在していません。私たちの遠い祖先にあたるほ乳類はすでに存在していましたが、ほとんどが現在のネズミくらい、大きいものでもタヌキ程度のサイズでした。ほ乳類を含む小さな動物たちは、肉食恐竜などの捕食者に見つからないように、ひっそりと生活していたのかもしれない。

ササヤマミロス・カワイイ (ほ乳類)

日本最古の^{しんじゅうるい}真獣類化石であり、私たち人類の遠い親戚筋にあたる。

学名	ササヤマミロス・カワイイ (<i>Sasayamamylos kawaii</i>)		
分類	哺乳類(真獣類)・新属新種		
体長	10~13cm	食性	雑食
産地	兵庫県丹波篠山市宮田		
特徴	歯の中ほどで後ろへ少し折れ曲がっている大きな犬歯と、発達した臼歯を持つ。		

パキゲニス・アダチイ (トカゲ類)

大陸と日本での同属(*Pachygenys*)のトカゲ類化石の発見は初めて。

学名	パキゲニス・アダチイ (<i>Pachygenys adachii</i>)		
分類	トカゲ類・ <i>Pachygenys</i> 属 新種		
体長	体長:約70cm	食性	不明
産地	兵庫県丹波篠山市宮田		
特徴	歯列を歯骨の前位だけにもち、歯の本数も9本と特殊である。		



丹波篠山市内で発見された恐竜たち

「篠山層群」からは平成18年に竜脚類の化石が発見されたのを皮切りに、獣脚類、鳥脚類、曲竜類、トロオドン類、角竜類など、たくさんの恐竜化石が発見されており、現在も引き続き化石の研究およびクリーニングが行われています。

その中から、新属新種として発表された2種類の恐竜をご紹介します。

ササヤマグノームス・サエグサイ

学名 ササヤマグノームス・サエグサイ
(*Sasayamagnomus saegusai*)

分類 角竜類・新属新種

体長 約80cm

食性 植物食

産地 兵庫県丹波篠山市宮田

発表(正式記載) 2024年

丹波篠山市宮田にある篠山層群の地層から発見された角竜類の新属新種。属名の*Sasayamagnomus*は化石産出地である地名「篠山(盆地)」とラテン語でノーム(小人妖精)を表す*gnomus*を組み合わせしており、「篠山の地下に隠された財宝を守る小人」という意味が込められている。

ササヤマグノームスは、トリケラトプスと同じ角竜類の仲間ではあるが姿かたちは大きく異なり、角は無く、フリルと呼ばれる襟飾りはとても小さい。角やフリルだけでは無く体のサイズも、トリケラトプスの約8mに対し約0.8m(80cm)と10分の1で現在の中型犬くらいの大きさである。また歩行形態も二足歩行で、後足で軽快に移動していたと思われる。

トリケラトプスとササヤマグノームスにここまで大きな違いがある理由は、生きていた年代の違いが影響しており、前者は約6800万年から6600万年前、ササヤマグノームスは約1億1000万年前であり、4000年以上古い原始的な角竜類だからである。

ササヤマグノームスは、トリケラトプスなどの進化した角竜類の御先祖筋にあたり、アジアで誕生した角竜類が、北米大陸へ渡っていった時期や当時の姿かたちを知る上で、とても重要な恐竜化石といえる。



ヒプノヴェナトル・マツバラエトオオエオルム

学名 ヒプノヴェナトル・マツバラエトオオエオルム
(*Hypnovenator matsubaraetoorum*)

分類 トロオドン科・新属新種

体長 約1m10cm

食性 肉食

産地 兵庫県丹波篠山市西古佐
丹波並木道中央公園内

発表(正式記載) 2024年



丹波篠山市西古佐にある丹波並木道中央公園内の地層(篠山層群)から発見されたトロオドン科の新属新種。属名の*Hypnovenator*はギリシャ語で眠りを表す*Hypnos*(ヒプノ)とラテン語で狩を表す*venator*(ヴェナトル)を組み合わせた言葉で、「眠る狩人」という意味になる。俊敏な肉食恐竜なので「狩人」は良いとしてもなぜ「眠る」なのかは、体を丸め眠っているようにもとれる姿勢で化石化していた事に由来する。

※実際に眠っていたのか、たまたま似たような姿勢だったのかは不明。

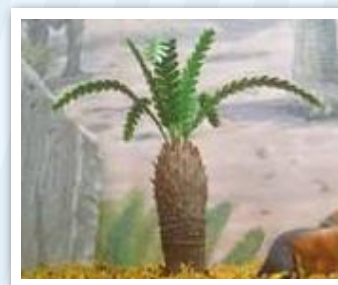
※実際に眠っていたのか、たまたま似たような姿勢だったのかは不明。

ヒプノヴェナトルは鳥類に近いトロオドン科の恐竜なので、前肢に羽毛(翼)があったと思われるが、残念ながら空を飛ぶ事は出来なかった。その反面、走行するのに適した長い後肢や、獲物を捉えるのに有用な鋭い爪を持っていたため、地上ではかなり優秀な狩人だったと考えられる。

まだまだ見つかる篠山の化石たち

先にご紹介したササヤマミロスやパキゲニス、恐竜類2種の他にもパキゲニスとは別種のトカゲ類や恐竜類と思われる卵殻(たまごのカラ)化石、まだ調査中でどんな動物の骨か判明していない化石など、現在進行形で続々と発見されています。

また、篠山層群では初となる新種の植物化石(学名:オトザミテス・トシオエンソイ)や、生痕化石である巣穴の痕跡など動物以外の化石も数多く見つかっています。



オトザミテス・トシオエンソイ

化石調査イベントについて

太古の生きもの館では、小学生以上の方を対象に、毎年5月・7月・8月・10月の年4回「化石調査体験イベント」を開催しています。

小学生以上の方ならどなたでも参加可能です。ぜひイベントにご参加下さい。



化石発掘体験イベントの様子



化石クリーニング体験の様子

化石石割調査体験

化石石割調査体験では篠山層群の発掘現場から採取した岩砕を砕き、化石を探し出します。見つけた化石は持ち帰れませんが、発見者の名前と共に研究用の資料として兵庫県立人と自然の博物館で大切に保管されます。

もしかしたら新種の動物の化石が見つかるかも!



化石発掘体験で使用する道具
※全て太古の生きもの館で準備します



石を割って化石の有無を調べます

化石クリーニング体験

化石クリーニング体験では、石から化石を取り出すのではなく、篠山層群の石とほぼ同じ硬さに調整された擬岩(偽物の石)に埋め込まれた本物の化石を道具を使って取り出します。取り出した化石は記念に持ち帰ることができます。

化石クリーニング技師を目指す方もクリーニングはどんなことをするのか試してみたいだけの方もぜひ一度体験してみてください。



化石クリーニング体験で使用する道具
※全て太古の生きもの館で準備します



慎重に擬岩を削ります



クリーニング完成!



太古の生きもの 市民研究所

太古の生きもの館内に併設されている太古の生きもの市民研究所では、石割調査や化石のクリーニングを行っています。

展示室から化石調査やクリーニング作業の様子を見ることができます。

石割調査とは?

篠山層群から採取した岩石を砕き、化石があるかないかを探し出す作業です。

市民ボランティアなどによって今までに篠山層群全体から約42,000点以上の化石が発見されています。



イベントなどでの岩石調査

化石発掘体験イベントや小学校の授業で石割調査を体験してもらっています。

あなたも新種の化石が発見できるかも!?



化石のクリーニング

岩石から化石以外のものを取り除き、中に含まれている化石本来の姿や状況をはっきりとさせる作業です。



市民ボランティアの活動について

篠山層群の化石調査作業は市民ボランティアのみなさんの協力が必要不可欠です。

発掘現場や太古の市民研究所で発掘調査に関連するさまざまな活動に取り組まれています。



石割調査・化石クリーニング

太古の市民研究所では、篠山層群から採取した岩石を砕いて化石があるかないかを調べます。また、発見した化石のクリーニングや保存、記録も行います。



発掘現場での調査

太古の市民研究所の中だけでなく、発掘現場にも出向いて岩石の採取や石割調査を行います。



授業での石割調査の指導

化石発掘体験イベントや小学校の授業では、市民ボランティアのみなさんに子どもたちが行う石割調査について指導いただいています。

現在、募集を一時停止しています（再開未定）。

市民ボランティア 随時募集

化石調査に協力いただける市民ボランティアを随時募集しています。化石や発掘に興味がある方、知識はないけどおもしろそうだから参加したい方、不定期・短時間の参加でも大歓迎です。ボランティアを始めてみませんか?

